

「世界一安全な都市、東京」実現のための警視庁ビジョン」策定の背景

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会と都内の治安

日本の良好な治安、とりわけ都内の良好な治安は、2020年オリンピック・パラリンピック開催都市の決定においても大きな強み。オリンピック開催は、日本にとって

- 震災からの復興
- 「強い日本」としての自信を取り戻すための重要な契機であり、東京都は主体的に寄与。



昭和39年東京大会

【「世界一安全な都市、東京」の実現】

- 都民が安心して暮らせる都市であることを実感。
- 大会開催時には、世界各国の訪問者にも共に安心してその感動を共有。



メダリストパレード

都内の治安の現状

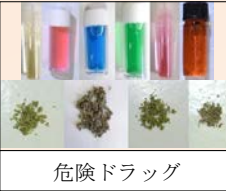


【新たな脅威や都民に不安を与える事案への対応】

- サイバー攻撃等の新たな治安上の脅威への対策が必要。
- 国際テロや震災への備えを万全にすることが必要。
- 特殊詐欺、ストーカー・DV事案、暴力団による組織的犯罪、危険ドラッグ等、都民に不安を与える要因への対処が必要。



サイバー攻撃



危険ドラッグ



首都直下地震



国際組織犯罪



暴力団犯罪

【平成25年の状況】

- 刑法犯認知件数
平成25年は約16万件で、平成15年から11年連続減少。
- 交通事故死者数
平成25年は168人で、戦後最少。

【都民の声】

- 都民生活に関する世論調査
 - ・ 「都政への要望」は「防災対策」が52.7% (1位)、「治安対策」が48.1% (2位)、「交通安全対策」が23.2% (6位)。
 - ・ 「治安対策の具体的要望施策」は「子供等に対する犯罪が起こりにくい環境整備」が30.8% (1位)、「警察官によるパトロール強化」が28.2% (2位)。
 - ・ 「世界の都市と比べた現在の東京の「強み」」は「治安が良く街が清潔に保たれている」が55.0% (2位)
 - ・ 一方、「現在の東京の「弱み」」は「治安が悪く街が汚れている」が6.9% (12位)
- 警視庁安全安心モニター
 - ・ 「犯罪の起きにくい社会づくりのために積極的に推進して欲しいこと」は「制服警察官によるパトロール活動」が73.7% (1位)、「防犯カメラの設置・運用」が65% (2位)。
 - ・ 「一昨年と比べて増加したと感じる犯罪」は「インターネットを利用した犯罪」が78.1% (1位)。

